

2021年12月14日
独立行政法人情報処理推進機構

ITパスポート試験に86歳が合格、最年長合格者記録を更新
～ これまでの最年長記録（83歳）を3年11か月ぶりに更新 ～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：富田達夫）は本日、「ITパスポート試験（iパス）」の令和3年11月度合格者を発表しました。最年長合格者は86歳で、これまでの最年長記録である83歳を3年11か月ぶりに更新しました。

URL: <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/openinfo/pass.html>

iパスは、経済産業省が所管する情報処理技術者試験の一区分で、ITを活用するすべての社会人・学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。本日合格発表を行った令和3年11月度のiパスでは、86歳が合格し、最年長合格者の記録を更新しました。なお、これまでの最年長合格者は平成29年(2017年)12月度に合格した83歳でした。令和2年(2020年)10月度には8歳の小学3年生が最年少で合格しており、年代の幅が広がっています。

デジタル技術が社会の隅々まで浸透し、デジタルトランスフォーメーションへの取組みが進むなか、iパスの応募者数は近年顕著に増加しています。令和2年度の応募者数は対前年度比24.6%増の約14万7千人に上り、令和3年度は4月から11月までの期間で約12万8千人（平均年齢29.7歳）となり、平成21年の試験開始以来の累計応募者数は約137万人、累計合格者数は約62万人となりました^{*1}。特に、金融業界をはじめとした非IT系企業での応募者が著しく増えており、令和3年度は11月までの8か月で6万8,203人と、前年度1年間での応募者数6万7,380人をすでに上回っています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
応募者数	86,305	94,298	107,172	117,923	146,971
合格者数	37,570	42,432	49,221	56,323	77,512

表1：過去5年間の応募者数・合格者数推移

iパスの出題範囲は、デジタル時代の新しい技術や手法の概要をはじめ、経営全般、ITの基礎知識、プロジェクトマネジメントなど幅広い分野にわたります。そのため受験者は試験に向けた学習を通じて、ITを活用する上で前提となる幅広い知識をバランス良く習得できます。

IPAは、今後も幅広い年代でより多くの社会人や学生がiパスを受験し、ITと経営に関する総合的知識を身に付けた人材が増えることにより、わが国のDX推進に寄与することを期待しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先
IPA IT人材育成センター 国家資格・試験部 安藤/松田
URL: https://www.ipa.go.jp/about/inquiry_index_0.html
■ 報道関係からのお問い合わせ先
IPA 戦略企画部 広報戦略グループ 伊藤
Tel: 03-5978-7503 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

*1 受験申込み時のアンケートに基づき集計